

# 現代英米文化学会 会報

4006

Published 15 February 1991  
Not for sale

題字は勝浦先生

## 【現代英米文化学会総会ならびに第75回例会のお知らせ】

今回は日本大学歯学部にて開催致します。

今回は、学会の名称、規約、組織についての改正案が協議されますので必ず御出席ください。出席不可能な場合は同封の葉書にて議長あての委任状を必ず郵送してください。なお、葉書は専門分野に関するアンケート調査を兼ねておりますので、全員必ず御返送下さい。

期日：3月23日（土）

時間：15時より16時まで研究発表 16時より総会を開催します

会場：日本大学歯学部3号館第7講堂（3F）

研究発表： All the Recklessness of the Karamazovs

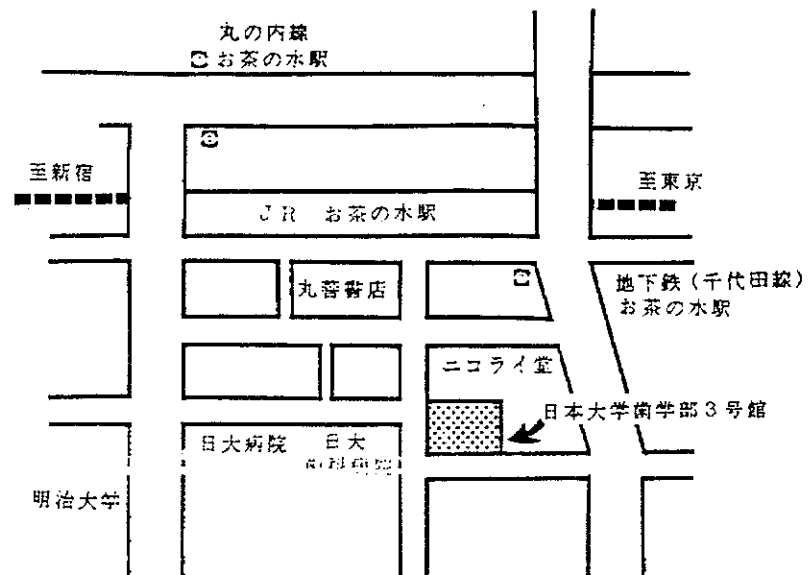
James Godley （昭和女子大学）

## 【年次総会】

今回の総会は以下のような重要案件がありますので是非御出席ください。出席できない場合は、同封の委任状をお出しください。

### 議案

- ・学会の名称変更
- ・学会規約の改正
- ・学会組織の改正
- ・学会役員を選出



## — スキー教室開催のお知らせ —

当学会の恒例となりましたスキースキー教室（名和先生はスキーの指導員でもありません）が開催されます。ふるって御参加ください。

期日：3月9日 - 10日

場所：石打スキー場

費用：交通費（1万円）+ 宿泊費（1万円）

宿泊費1万円は夕食2回、朝食を含みます。

申込先：高取清先生 2月20日に締切らせていただきます。

☆新学会規約案は以下の通りです。

### 英米文化学会規約（案）

第一条（名称） 本会は「英米文化学会」と称する。

第二条（目的） 本会は英語学、英米文学、英米文化の研究を目的とし、あわせて会員相互の親睦をはかる。

第三条（事業） 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究発表会を行う。
2. 機関誌を発行する。
3. その他理事会において必要と認められた事業を行う。

第四条（会計） 会計年度は4月1日から翌年3月31日までとする。

2. 本会の経費は会費、寄付金、その他の収入をもってあてる。
3. 会費は年額とし、次の区分による。

普通会員 3,000 円

賛助会員 10,000 円以上

第五条（役員） 本会には次の役員をおく。

理事長（会長）、常任理事（副会長二名を含む）

各部局担当理事、会計監査

理事会の規約および構成は別に定める。

2. 役員は総会に於て委嘱される。
3. 役員任期は2年とし再任をさまたげない。
4. 理事長は会務を総括し、本会を代表する。
5. 会計監査は会計を監査する。
6. 本会は会員の推挙により顧問をおくことができる。

第六条（理事会） 理事会は理事の請求により召集することができる。

2. 理事会は、常任理事、各部局担当理事より提出される議案を審議する。
3. 理事会は、学会の総ての活動に責任を持つものとする。
4. 理事会は本会の運営を円滑に行なうために必要な各部局を設置することができる。
5. 理事会は、本規約に即して内規を定めることができる。

第七条（総会） 総会は本会の最高の議決機関とし、理事長が年一回これを召集する。ただし理事長は必要に応じて、臨時総会を召集することができる。

2. 総会の議決は出席会員の過半数を必要とする。

第八条（規約改正） 本規約の改正は総会の承認を経なければならない。

付則 この規約は平成3年4月1日より施行する。

☆学会組織改組案は以下の通りです。

【 理 事 会 】

理事長

常任理事（学術担当）

常任理事（渉外担当）

常任理事（財務担当）

常任理事（事務担当）

企画担当理事

編集担当理事

分科会担当理事

【 委 員 会 】

◇総務（事務担当理事および委員若干名）

会員管理 通信事務等

◇財務（財務担当理事および委員若干名）

会計管理

◇編集（編集担当理事および委員若干名）

『現代英米文化』、『ニュースレター』、大会関係資料等の作成  
例会、大会の企画と運営等

◇企画（企画担当理事および委員若干名）

学会による出版、渉外事務一般  
論文選考、研究発表等に関する  
助言

◇渉外（渉外担当理事および委員若干名）

◇学術（学術担当理事および委員若干名）

◇分科会（分科会担当理事および各分科会の代表）

分科会の企画、運営

☆学会からのお知らせ☆

<研究分野アンケート調査のお願い>

分科会発足に伴い、会員の皆様の研究分野をデータベース化して、分科会活動の基礎資料にします。同封の葉書に、主要な研究分野を二つまで書いて、御返送下さい。

<編集委員長 佐藤治夫の連絡先が変更になりました>

平成3年から、編集委員長佐藤治夫の勤務先電話番号がダイヤルイン方式になり、局番も新しくなりました。学会員の住所、身分の変更等の連絡は次の番号にかけてください。夜間は留守番電話をオンにしてあるはずですので、何時にお電話があっても大丈夫のはずです。1回の通話録音時間は4分に設定してあります。

新電話番号 03-3219-8160

モデムをお持ちの方は03-3219-8333にかけて

ユーザー番号 APPLE050 (註:ゼロ・ゴ・ゼロ)

ID GUESTUSR

でBBSに入れます。学会の最新版の電話帳などを読み出すことができます。

<会員の動き>

— 出版 —

大石 五雄 『アンカー和英辞典』執筆・校閲 学研 2300円

小川 喜正 BINBOGAMI 桐原書店 1200円

佐藤 治夫 A Comprehensive Concordance to The Faerie Queene 1590 研友社 49440円

高取 清 『翻訳の要点—英語から日本語へ』 文総出版 1500円

前回、菊に対する感じ方が国によって異なり人によって違う異文化摩擦のことを書いた。とりわけ、紫式部のような作家の菊に対する両義的感覚は、日本人独特の感受性のように思われた。

ところが、D. H. ロレンスの「菊の香り (Odour of Chrysanthemum)」にも、紫式部的アンビヴァレントな感覚を読み取ることができる。ロレンスの描く人々は大抵、地道で質素な生活を送っている。だがどんなに地道な人生でも時折、一陣の風が吹き、その人々の薄紙を隔ててある生と死を垣間見せるものである。新たな覚醒に目覚める人と自然の関わりには殊にロレンスの場合、分ち難い関係を持つようだ。

「菊の香り」の中には様々な人間関係の蹉跎が見える。子供たちと母親、妻と夫、夫と母、嫁と姑など限り無く続く「関係」がある。人間の生活とはこうした「関係」の上に成立しており、日々私達はこの「関係」に悩まされてもいる。炭坑夫の夫は、家にまっすぐ帰って来たためしがない（ここいら辺はどんなお父さん達も耳の痛い話なのである）。家中に妻の憤懣が充満している。怒る母を痛々しく気遣う子供たちの哀れな姿。それでも妻は夫が炭坑から帰って来て不平を言わないように赤々と暖炉に火をくべるだけの愛情が残っているようだ。トルストイは「すべて幸福な家庭は互に似通っているが、不幸な家庭はそれぞれに不幸の趣を異にしているものである」と言ったが、ロレンスの場合、このような些細な不協和音は「不幸」のうちには入らない。そして妻の夫への憤懣も、妻の不幸ではないのである。「菊」は夫への思慕とその裏切りに対する遺恨のないまぜのアンビヴァレントな感情を象徴している。「彼と結婚した時も菊、お前が生まれた時も菊があった。それに酔ったあの人は皆が担いで帰って来た時、ボタンホールには黄色い菊が挿してあった」と述懐する。飲んだくれの夫に対して抱く妻の結婚観、人生観はこの場合「菊」に象徴されるメランコリーを暗示する。

だが、このドラマの結末を見る時、ロレンスのぞっとするような、しかも覚めた人生に対する莊嚴な意識に、改めて飲んだくれの夫がもたらした懐かしい「生」へ今一度、思いをはせる妻とその家庭の重みを思わざるを得ないのだ。

即ち、事故で死んだ夫の棺を前に彼等夫婦の関係が子供を産む為の水路であり、あの世では見知らぬ他人同志にしか過ぎないお互いに対する無知無関心を思い、本当の不幸とは彼女がありのままの夫を否定し続けてきたこと、その拒絶であったことを後悔し、死が莊嚴なる真実を伝えたことに感謝するのであった。

発行責任者 佐藤治夫

現代英米文化学会編集委員会

佐藤治夫、石原 強、相良英明、大桃道幸

石川郁二、中村 豪、宮本正和

<投稿時の宛先>

通常郵便

郵便番号 101

千代田区神田駿河台 1-8-13

日本大学歯学部 佐藤英語研究室内

現代英米文化学会編集委員会 宛